

社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会（平成29年度 第2回）

新規事業候補箇所の選定の考え方



【対策未実施区間(新規事業候補対象区間)の抽出】

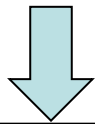
1.中部の直轄国道全線(約1800km)
○道路交通センサス区間ごとに分割 **【1301区間】**

2.対策未実施区間(新規事業候補対象区間)の抽出
○改築事業中区間を除外 **【513区間】**

3.課題箇所の抽出(いずれかの項目に該当)
① 渋滞 : 主要渋滞箇所を有する区間
② 事故 : 事故危険区間を有する区間
③-1 通行規制 : 異常気象時に事前通行規制を実施する区間
③-2 防災 : 津波浸水域または液状化可能性(大・中)に該当する区間 **【423区間】**

4.調査熟度の確認
○上記区間のうち、事業実施の前提となる都市計画決定区間を抽出 **【52区間】**

5.事業実施環境、必要性や効果等の確認
○上記区間のうち、事業実施環境(都市計画決定等により詳細なルート・構造)が整ったものを抽出し、事業の必要性や効果、周辺ネットワーク形成の観点等を踏まえて選定 **【2区間(1箇所)】**



H30新規事業候補箇所の選定結果
一般国道19号 瑞浪恵那道路 **【2区間】**

課題	課題抽出の視点・指標		判定	
① 渋滞	渋滞箇所	主要渋滞箇所が確認される区間	主要渋滞箇所に該当	各県主要渋滞箇所公表資料(H29年度)
② 事故	事故危険区間	事故危険区間が確認される区間	事故危険区間に該当	地域の委員会等で特定された区間(H29年度)
③-1 通行規制	異常気象時通行規制区間	異常気象時に事前通行規制を実施する区間	異常気象時に事前通行規制を実施する区間	H27道路交通センサスデータ
③-2 防災	津波浸水域	津波浸水域に該当する区間	津波浸水域に該当	各県津波浸水域想定
	液状化の可能性	南海トラフ地震発生時の液状化可能性が高い区間	液状化可能性(大・中)に該当する区間	内閣府中央防災会議資料(H24.8月)「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」基本ケース

H30新規事業候補箇所的位置図

	高規格	一般有料	直轄国道
開通済区間			
事業中区間			

